

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和2年8月27日(2020.8.27)

【公開番号】特開2020-74125(P2020-74125A)

【公開日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2020-019

【出願番号】特願2019-238413(P2019-238413)

【国際特許分類】

G 06 F 30/10 (2020.01)

B 21 D 28/02 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/50 6 3 2

G 06 F 17/50 6 0 8 Z

B 21 D 28/02 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月13日(2020.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報処理装置を、

第1の部品の穴の位置と、前記第1の部品の奥側に位置する第2の部品の位置に基づいて特定される、前記奥側に前記第2の部品がある穴を特定する特定手段として機能させるためのプログラム。

【請求項2】

前記特定手段を、奥側に前記第2の部品がある穴の中心位置を特定する手段として機能させるための請求項1に記載のプログラム。

【請求項3】

前記情報処理装置を、

前記特定手段により特定された穴を識別表示する識別表示手段として機能させるための請求項1又は2に記載のプログラム。

【請求項4】

前記情報処理装置を、

前記特定手段により特定された穴の位置を、前記第2の部品を打ち出す位置として決定する決定手段として機能させるための請求項1乃至3のいずれか1項に記載のプログラム

。

【請求項5】

前記情報処理装置を、

奥側に前記第2の部品がある穴を介して当該第2の部品を打ち出す第3の部品の平面座標上の位置決定する座標決定手段として機能せるための請求項1乃至4のいずれか1項に記載のプログラム。

【請求項6】

前記情報処理装置を、

前記特定手段により特定された穴を介して前記第2の部品を打ち出す第3の部品の形状を、前記穴を介して前記第2の部品を打ち出し可能な形状に決定する形状決定手段として

機能させるための請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

**【請求項 7】**

前記情報処理装置を、

前記穴を介して前記第 2 の部品を打ち出す第 3 の部品のサイズを、前記穴を介して前記第 2 の部品を打ち出し可能なサイズに決定するサイズ決定手段として機能させるための請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

**【請求項 8】**

第 1 の部品の穴の位置と、前記第 1 の部品の奥側に位置する第 2 の部品の位置に基づいて特定される、前記奥側に前記第 2 の部品がある穴を特定する特定手段を備えることを特徴とする情報処理装置。

**【請求項 9】**

情報処理装置の特定が、第 1 の部品の穴の位置と、前記第 1 の部品の奥側に位置する第 2 の部品の位置に基づいて特定される、前記奥側に前記第 2 の部品がある穴を特定する特定工程を含む制御方法。